

2017年3月28日（火）

**大幸薬品株式会社と株式会社アルマード、
ヘルスケア市場での
新たなニーズの開拓に向けて業務提携基本合意書を締結**

2017年3月28日、大幸薬品株式会社（本社：大阪府大阪市西区、代表取締役社長：柴田高、以下 大幸薬品）と、株式会社アルマード（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴江祐未、以下 アルマード）は、ヘルスケア市場での新たなニーズの開拓に向けて、業務提携基本合意書を締結いたしました。

近年、腸内細菌叢（腸内フローラ）が生命活動全般に与える影響について、多くの研究成果が発表され大きな注目を浴びています。胃腸薬を主力製品とし、数々の基礎研究を行ってきた大幸薬品と、腸内フローラ関連の研究などを国立大学法人東京大学（本部：東京都文京区、総長：五神真、以下 東京大学）と共同で進めているアルマードは、双方の取り組みを高く評価し、2015年5月に資本提携を致しました。

この度、アルマードと東京大学との共同研究の成果が、2017年3月8日（水）に世界的な総合科学誌「Nature」を出版するネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）が運営する電子ジャーナル「Scientific Reports」に、掲載^(*)され、本日東京大学において説明会が開催されました。これを機に、大幸薬品とアルマードでは協働事業を発展的に検討していく事で基本合意いたしました。

■基本合意内容と今後の展開

今回の基本合意の内容は、卵殻膜配合商品市場の更なる成長のため、卵殻膜を配合した製品の共同研究、開発及び販売促進などを通じた協働、というもので、両社ではヘルスケア市場での新製品開発と、新たな販売チャネルの拡大を模索中です。

■東京大学とアルマードとの共同研究に拠る論文概要とその意義

本研究に拠り、卵殻膜には、腸管上皮損傷の修復と腸内細菌バランス失調を軽減させることで、炎症性疾患を改善する効果があることが判りました。また、卵殻膜によるこのような腸内フローラおよび炎症性腸疾患抑制への洞察は、IBD（炎症性腸疾患）の予防/治療に新たな視点を提供できるものと考えられます。

**■健康食品・化粧品としての卵殻膜**

商品としての卵殻膜は既に多数の御客様にご支持頂いており、代表製品であるビューティーサプリメント「TO-II」は、2003年にショッピングチャンネルQVCでデビューするなり、数多くの企業の中でNO.1の売上を達成し、以後、26半期連続ベストセラー記録を伸ばし続けています。

『正露丸』ブランドにより、胃腸薬市場で培ってきた高い信頼性と認知を誇る大幸薬品と、卵殻膜の効果に関する研究実績と顧客支持を持つアルマードは、両社の強みを生かしながら、ヘルスケア市場での新たなニーズを開拓してまいります。

(*1) 掲載先 URL : www.nature.com/articles/srep43993

- **大幸薬品株式会社について**

大幸薬品は、【「自立」、「共生」、「創造」を基本理念とし、世界のお客様に健康という大きな幸せを提供します】の企業理念のもと、『正露丸』、『セイロガン糖衣A』を主力製品とする医薬品事業と、『クレベリン』を主力製品とする感染管理事業を活動の柱としております。新製品・サービスの企画・販売をパートナー企業とのアライアンスも積極的に活用しつつ、さらなる市場拡大を目指しております。詳細は公式サイト (<http://www.seirogan.co.jp/>) をご覧ください。

- **株式会社アルマードについて**

株式会社アルマードの企業理念は、創業以来変わらず、卵殻膜のもつパワーで健康と美しさ、若々しさをサポートし、”人間の生命を尊重し、楽しく、美しく、健康的な生涯を送るお手伝いができる企業でありたい”ということです。

これからもアルマードは、卵殻膜をすべての製品の核に置き、医療機関での研究・臨床による安全性と効果のデータをもとに、身体の外部より塗る化粧品・メイクアップ商品、成分を利用する医薬部外品、またそれを食することで効果をあげるサプリメント、この3部門を通じ、美と健康を最大限に提供できる企業として、製品づくりに全力を傾けてまいります。詳細は公式サイト (<http://www.almado.jp/>) をご覧ください。

<本基本合意に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>

- ・大幸薬品株式会社 広報部 Tel : 06-4391-1191
- ・株式会社アルマード 常務取締役 保科 Tel : 03-4334-1122